

平成24年度事業報告書（24.4.1～25.3.31）

公益財団法人 美術工芸振興佐藤基金

I. 事業の概要

平成24年4月1日より、公益財団法人美術工芸振興佐藤基金として活動を開始するにあたり、今までにない新たな試みも行いました。

石洞美術館では、今まで館蔵品を中心に展覧会を行ってきましたが、館蔵品とは異なる美術品の鑑賞機会を提供するため、公益社団法人日本工芸会との共催による「日本金工展」の開催や、個人コレクションを借用して「マイセン展」の開催を行いました。

また、展示作品の理解の一助とするため、鍛金による作品制作のワークショップを開催しました。

II. 事業毎の概要

1. 美術工芸等に関する資料の収集、保存、調査研究、展示及びそれらの資料を活用した事業

(1) 石洞美術館

① 展覧会

- 平成24年1月14日より4月8日まで「徳利と盃 一館蔵酒器展一」開催。

開館日数74日、来館者1,054名、1日平均14.2名

(内平成24年度 開館日数7日、来館者166名、1日平均23.7名)

- 平成24年4月28日より8月5日まで「石洞山人とやきもの」展開催。

開館日数86日、来館者950名、1日平均11名

- 平成24年9月1日より10月14日まで「第41回伝統工芸日本金工展」（共催：公益社団法人日本工芸会、後援：文化庁・東京都教育委員会・朝日新聞社・財団法人宗桂会・足立区・足立区教育委員会・公益社団法人足立法人会）開催。

開館日数38日、来館者2,392名、1日平均62.9名

列品解説

9月1日	講師：奥山峰石（重要無形文化財保持者）	参加者：55名
9月8日	講師：原田一敏（東京藝術大学教授）	参加者：15名
10月6日	講師：大槻昌子（金工作家）	参加者：33名
10月13日	講師：北村眞一（金工作家）	参加者：63名

- ・平成24年11月3日より12月16日まで「佐藤千壽コレクション 駒井哲郎銅版画展」開催。『佐藤千壽コレクション 駒井哲郎銅版画展』図録発行。
開館日数38日、来館者531名、1日平均14名
- ・平成25年1月12日より「土屋コレクション 華麗なる色彩の共演 マイセン展」開催。
会期は4月7日まで。
(1月12日より3月3日まで「鳥居コレクション酒杯展」、同時開催
3月5日より3月24日まで「梅が咲いた」展、同時開催
3月26日より4月7日まで「第29回淡水翁賞受賞者作品展」、同時開催)
3月31日までの開館日数68日、来館者2,471名、1日平均36.3名

② 広報活動

- ・石洞美術館のホームページをリニューアル
- ・「ぐるっとパス2012」に参加
- ・東京地下鉄株式会社のスタンプラリー「歴史の街 千住宿 蔵のまちを歩こう！」
(平成25年2月13日～4月4日)に参加

③ 資料の収集

- ・資料の購入
《陶磁器》古染付6件(鉢1件、台鉢1件、皿1件、火入1件、向付2件8点)
天啓赤絵向付1件、浜田庄司作茶碗1件、中国越州窯青磁壺2件
以上10件を購入
- ・資料の寄贈
北川美穂氏より、ブータン漆器8件
鳥居俊雄氏より、「高麗青磁象眼盃」など酒杯79件、富本憲吉作筆架1件
以上88件の寄贈を受けた。

④ 資料の貸出

- ・MIHO MUSEUM「空想動物の世界展 一聖なる古代の物語」(2012年7月7日～8月19日)に「破邪の怪獣ヴィヤーラ」(インド石彫)、「立柱の群像」(インド石彫)の2件を貸し出し
- ・古代オリエント博物館「空想動物の世界展 一聖なる古代の物語」(2012年9月15日～11月11日)に「破邪の怪獣ヴィヤーラ」(インド石彫)、「立柱の群像」(インド石彫)の2件を貸し出し

- ・町田市立博物館「蓮 —Lotus land」展（2012年7月7日～9月9日）に「パールナ・クンバ（充満の壺）」（インド石彫）1件を貸し出し
- ・横浜ユーラシア文化館「華麗なるインド神話の世界 —神々が結ぶインドと日本—」展（2012年10月6日～2013年1月14日）に「神妃パールヴァティー」（インド青銅神像）、「象頭神のガネーシャ」（インド黄銅神像）ほかインドの金属製神像、計7件を貸し出し
- ・兵庫陶芸美術館「尾形周平」展（2013年3月9日～5月26日）に「青花牡丹唐獅子兜鉢」（中国）1件を貸し出し

⑤ 博物館館務実習受入

- ・青山学院大学2名

(2) 美術工藝等に関する講習会、研究会等の開催

- ・ワークショップ「鍛金で「笹皿」を創りましょう」

平成24年9月16日 講師：井尾建二（金作家） 参加者：10名

2. 美術工藝等の創作活動、調査研究及び普及活動に対する助成及び表彰事業

(1) 助成事業

- ① 米国ハーバード大学（東アジア言語文化学科）に対し当財団と土屋文化振興財団の双方で\$5,000ずつの助成を行いました。
- ② 浅野ひとみ（長崎純心大学准教授） 「千堤寺のキリシタン遺物研究」（研究助成）
- ③ 矢島律子（町田市立博物館学芸員） 「舛田誠二氏所蔵ベトナム陶磁調査」（研究助成）
- ④ 畑 智子（京都文化博物館学芸課長） 「国立アイルランド博物館所蔵明治期七宝の調査」（研究助成）
- ⑤ 坂口 萌（東京藝術大学） 「「イモノの景色」展」（展覧会助成）
- ⑥ 勝村真光（表具師） 「第四回表装展」（展覧会助成）

以上6件、助成総額 ¥3,127,900

(2) 淡水翁賞（若手金工作家奨励賞）

第29回淡水翁賞については、所定期日までに7名の応募があり、選考委員会の議を経て、最優秀賞に栗根仁志氏、三枝一将氏、優秀賞に服部睦美氏が選出され、平成25年3月26日に授賞式を挙りました。

賞金総額 ¥1,000,000

附属明細書について

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書を作成しない。

平成25年 6 月

公益財団法人美術工芸振興佐藤基金